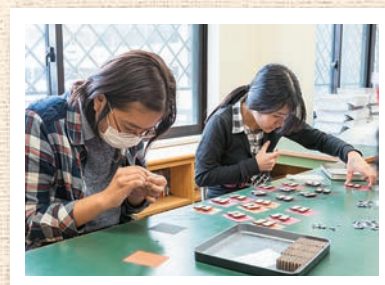


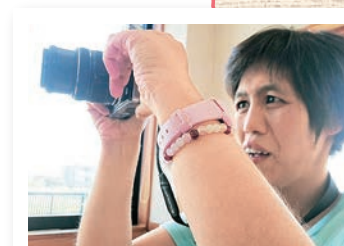
共に生きる 社会に向けて



福岡県では、障がいの有無にかかわらず、
誰もが人格と個性を尊重し、支え合って共生する社会を目指し、
障がいのある人の自立と社会参加を進めるため、
さまざまな取り組みを行っています。

障がいのある人が活躍する場面は、
社会の中で生き生きと働くことはもちろん、
スポーツや文化・芸術など、たくさんの分野で広がってきています。

誰もが自分らしくありのままに暮らしたい。
まごころあふれる温かい社会づくりは前へ進んでいます。
障がいのある人の活躍の一部をご紹介します。



社会参加へ生き生きと

「障がいのある人がやりがいを持って働く」
社会参加を促す就労支援の事業所では、障がいのある人たちが生き生きと活動しています。地域の理解やさまざまな支援があつて、社会で必要とされる魅力的な「製品やサービス」「まごころ製品」がたくさん生まれています。



野菜が育つ姿に触れることも生き生きと暮らすための大きな学びに

豊前市 循環農法を生かした「里山プログラム」 ワークセンター栃



「どんちゃ香ポーク」は、どんぐり、お茶、ハーブを餌にした放牧豚



人気の「ポークジャーキー」(500円)と肩ロース、豚バラ肉(各950円)。ふるさと納税の返礼品にも採用されている



商品販売所「まきばまーと」では手作りクッキーも販売



「利用者同士の連携が社会とのつながりを学ぶ第一歩」と中村さん(左)と木村さん

豊前市に広がる丘を、そのまま就労支援事業に生かしたのがワークセンター栃。春は竹林でタケノコ狩り、丘の上で新茶を摘み、夏から秋にかけてナスやトウガラシ、サツマイモ、原木シイタケなど、季節に合わせた農作物の販売や加工を行っています。野菜作りは土作りから。腐葉土やシイタケ栽培が終わった原木、竹チップなどを堆肥にします。放牧した豚も草地をきれいに除草するだけでなく、そのふんが堆肥作りに役立つ

「田舎で自給自足しているような就労訓練です」と笑顔で話してくるのは副所長の中村高志さんと管理責任者の木村文昭さん。「作ったサツマイモは焼酎に、その搾りかすは豚の餌に。放牧豚が畑を肥やし、大きく育ったらブランド豚として出荷します」。里山の恵みをうまく利用し、社会参加のプログラムの大きな柱として取り入れています。

広い園内では就労訓練に取り組み利用者が暮らすグループホームや就労生活支援の日用品販売所、さらに乗馬療法のために馬を飼育した牧場も営んでいます。利用者は季節ごとの作業を通して、仕事の役割と社会貢献という意識を育みます。ここで学んだそれぞれのスキルを身につけて一般就労へ。役割をしっかりと果たせる喜びが大きな一歩となつていきます。

ワークセンター栃
〒豊前市大西1120
☎0979-82-0885

福岡市 和の白苑



手作りマグネットも1つずつ袋詰め



ブラシを使ってきれいな色塗り

人気商品はかわいらしい「ままごとキッチン」。蛇口つまみが回るなど楽しめる工夫が満載。温もりがある木製で、角が丸くて安心。「色塗りが得意な人、やすり掛けが得意な人。利用者の皆さんの仕事が合体した当施設のメイン商品です」と、笑顔の小宮洋祐さん。いろいろな業務を請け負いながら、この施設のオリジナル商品を模索してきた中で、木工の雑貨づくりが生まれました。施設に隣接したショップ「和つしよい」での販売に加え、地域催事へ出店することで地元の方々と交流も。同じものが2つとない一人一人の百点の出来のものが売れていくことで、社会参加の喜びが生まれました。小宮さんの言葉には、施設で働く利用者たちと分かち合う充実感にあふれていました。



細かい工夫いっぱい「ままごとキッチンDX」(写真左、12000円)。まごころ製品ショップ(ホームページ)でも購入可能

「地域と交流しながらステップアップしています」と小宮さん

和白苑
〒福岡市東区和白5-15-14
☎092-605-5888
ファクス092-607-0886

福岡市 高品質の評価が大きな自信に アクト事業所



シーツの汚れも丁寧な目視で確実に



テキパキときれいな包装を心がけます



アイロン掛けも職人技

「従業員の皆さんのコミュニケーションを何より大事にしています」と橋本さん

アクト事業所
〒福岡市東区松島2-3-36
☎092-624-0555

市内のホテルや有名芸能人からもクリーニングの依頼があるアクト事業所。預かる一枚一枚を丁寧な手仕事で仕上げる品質が高い評価を得ています。「障がいのある人それぞれの得意分野を生かして、自信をつけて働いてもらっています。シミ抜きやアイロン掛けなど技術的なこだわりはもちろん、集配や事務作業も全て分担しているんですよ」と、運営課長の橋本純太さん。自信を持って働くことが自主性を育み、共に働く喜びがやりがいになる環境作りを大切にしています。集中して働いた後の休憩時間にはたくさんの笑顔が。「近い将来、障がいのある人だけで経営まで目指したい」という目標のもと、適材適所の仕事で連携した、お客さまが満足する一流のサービスが生まれています。

「まごころ製品ショップ&デスク」をご利用ください

福岡県では、障がいのある人が心を込めて作る製品や提供するサービスを「まごころ製品」と名付け、福岡県庁地下1階の「まごころ製品ショップ」で250~300種の商品を販売、提供しています。また、併設の「まごころ製品デスク」では、企業などからの発注をワンストップで受け付けています。ぜひお立ち寄りください。

まごころ製品ショップ & デスク
〒福岡市博多区東公園7-7 福岡県庁行政棟地下1階南棟東端
☎9時~18時 休 土・日祝・年末年始
☎092-632-7100 http://www.magokoro-ichiba.jp



「ラッキョウ」セルブちくほ(飯塚市)

「和紅茶」ワークスペース蓮(八女市)

「まごころ製品」大規模販売会 障がいのある人の自立と社会参加を応援する「第6回福岡県「まごころ製品」大規模販売会」を開催します。詳細は本誌の裏表紙をご覧ください。

好きなものにとまっすぐ 私らしい表現を楽しもう

2018 福岡県
障がい児者美術展
作品テーマ「文化の力」

平成29年度から始まった「ふくおか県障がい児者美術展」には、今年も「絵画」「書道」「写真」の部それぞれにたくさんの方が作品を集まりました。審査の結果、101人の方が入賞・佳作作品に選ばれました。



絵画部門

①小・中学生の部
福岡県知事賞
「おきなわのお魚たち」
大木彩瑛さん

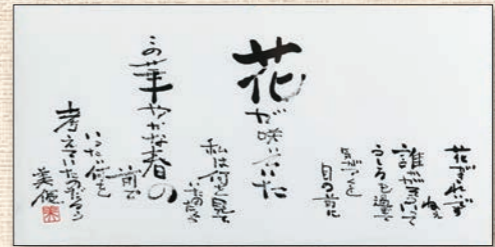


②小・中学生の部
福岡県議会議員賞
「大保のお祭り」
山下優希さん



書道部門

③小・中学生の部
福岡県議会議員賞
「むぎ」
金子花さん



④一般の部
太宰府市長賞
「星野富弘の詩」
藤永美優さん

写真部門

⑤一般の部
福岡県知事賞
「なかと夏 2017」
児玉美絵さん



福岡県庁1階ロビーの展示の様子。11階よかもん広場にも展示

福岡県では、障がいのある人の美術への制作意欲を促進し、多くの県民にその多様な才能に触れる機会を提供するため、「ふくおか県障がい児者美術展」を開催しています。受賞作品は、県内を巡回展示され、各会場とも多くの観覧客が訪れました。10月21日、プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館）では、入賞作品の表彰式と併せて受賞者と審査員によるギャラリートークを開催。選考の難しさがある一方、さまざまな背景を持つ作品から新鮮な刺激を受け、審査員一同、楽しい審査になりました」と、絵画部門審査員の小林敏夫さん。講評に答える受賞者の言葉には、それぞれの人柄と、作品への思いがあふれていました。

さまざまな背景を持つ作品から新鮮な刺激を受け、審査員一同、楽しい審査になりました」と、絵画部門審査員の小林敏夫さん。講評に答える受賞者の言葉には、それぞれの人柄と、作品への思いがあふれていました。

ツナガルアートフェスティバルFUKUOKA2019

「みる」「つくる」「体験する」をテーマに、障がいのある人とない人が芸術文化を通じて交流するイベントを開催します。

開催日時 2019年1月12日(土) 11時～16時

会場 エルガーラホール(福岡市中央区天神1-4-2)

内容 福祉サービス事業所が展開するバンド「Vivimos」や福岡を拠点とする「劇団AFRICA」などのステージパフォーマンスや障がいのある人とない人が交流するアートイベント、作品展覧会、映画上映(アフタートークあり)など



○ 福岡県庁1階ロビーの展示の様子。11階よかもん広場にも展示

○ ツナガルアートフェスティバルFUKUOKA2019実行委員会 ☎ファクス092-516-0677

受賞者に聞く

表現の背景にはさまざまな思いがあります。作者の思いを知ることで作品の魅力がより見えてきます。



写真部門 小・中学生の部 福岡県知事賞
「小さな虫から見た世界」



みやがわさら
宮川紗良さん

小さな虫の気持ちになって撮りました。人間には近くにみえても、虫にとっては長い道のりなんだと、あらためて思いました。

講評

虫には街がどう見えるの？という気持ちがローアングルの表現になりました。その素直な視点を大切にシャッターを切り続け、来年も出展してください。



写真部門 一般の部 太宰府市長賞
「なつのまど」



おおくほりえ
大久保理恵さん

川やベンチの写真を撮りました。シャッターの音がしないカメラだったので、撮れたか分からず難しかったです。

講評

一点一点の構図が見事。夏の窓の印象がくっきり切り取られています。いつもは携帯電話のカメラで撮影しているようですが、その写真もぜひ組み写真に。



絵画部門 一般の部 福岡県議会議員賞
「夏の昇開橋」

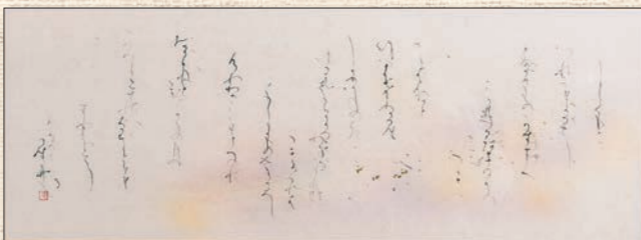


うちやまみき
内山美紀さん

地元大川市の昇開橋と、夜の花火、花、魚、動物を描こうと思いました。ネコは大川市の特産「ネコ家具」をイメージしたものです。

講評

サインペンで描いた作品。最初から計算されたかのようによく考えられた構図で、色使いの感覚に新しさがあり、美しく完成度の高い作品です。



書道部門 一般の部 福岡県知事賞
「書新古今和歌集」



もりおかまさこ
森近正子さん

墨汁は使わず必ず自分の手で墨をすります。今回は筆運びがうまくいかず苦労しました。もっと流れのいい作品になるよう精進します。

講評

下肢の障がいでも正座ができないと伺いましたが、最後まで緊張感が持続した流麗な筆致の作品です。作者にお会いするのが楽しみになるような作品でした。

注目の

パラスポーツを体験

福岡県障がい者スポーツ協会では、パラスポーツに触れ合う機会づくりを定期的に行っています。11月18日、アクシオン福岡で行われた体験イベントでは12種類のパラスポーツを紹介。障がいのある人もない人も気軽に参加して体験していました。その中から注目のパラスポーツをご紹介します。



車いす バスケット ボール

車いすに乗った目線が新鮮。操作はシンプルですが、なかなか思うようにはいきません

スポーツをすることで自分らしく輝く選手たち。東京2020パラリンピックでも注目される話題のパラスポーツに触れてみましょう。

自分らしい瞬間を見つける
多様なパラスポーツと共に誰もが輝く

ウィルチェアー ラグビー



攻守で異なる車いすの形と動きにも注目

バスケットボールと同じ広さのコートで、専用の車いす(ウィルチェアー)に乗った選手が4対4で対戦します。8分間のゲームを4回繰り返す4ピリオドで1試合。パスや膝の上に乗せるなどしてボールを運び、車いすの前後4輪のうち2輪がトライラインを越えると1トライとなります。車いす同士が激しくぶつかり合う迫力やコートを素早く動き回るチェアワークが見どころです。

ブラインドサッカー



「音」と「声」が生むスピーディーな攻防

1チームが4人のフィールドプレーヤーと1人のゴールキーパーの5人制サッカー。フィールドプレーヤーは視覚に障がいのある選手たちで、個々の見え方を合わせるためアイマスクを着用してプレーします。鉛が仕込まれたボールは「シャカシャカ」と音が鳴り、選手たちはその音と「ガイド」と呼ばれるメンバーの声を頼りにプレーします。「音」や「声」を頼りに展開する攻防に注目です。

車いすテニス



テニスの技術＋チェアワーク(車いす操作)

コートの広さもネットの高さも一般のテニスと同じで、車いすに乗ってプレーすること、2バウンドまでの返球が認められている点が違うのみ。テニスの技術に加えて、片手にラケットを持ちながら車いすを動かし、広いコート素早く走り回るチェアワークが大きなポイントです。重度障がいの選手を対象にしたカードクラスには、電動車いすで競技に臨む選手も。(10ページに関連記事)

ボッチャ



最初にジャックボールと呼ばれる白いボールを投げ、続いて赤と青の各6個のボールを投げたり転がしたりして、ジャックボールにどちらが多く近づけられるかを競います

「ボッチャ」は障がいの有無にかかわらず、老若男女一緒に楽しめる「アダプテッド・スポーツ」としての側面も

サポートで参加していた福澤翔選手は、地元の車いすバスケットボールチーム「福岡breez」に所属。日本代表強化選手で、東京2020パラリンピックの出場を目標に活躍するトップアスリート。「いろんな場所でパラスポーツに触れてもらうことが大事です。車いすバスケの魅力を知ってもらって、たくさんの応援の中で活躍することを目標に頑張っています」

いのない人も一緒に参加できる競技も広まってきました。
福岡県は、障がいのある人もない人も、誰もが自分らしくスポーツを楽しめる「パラスポーツ」を目指しています。東京2020パラリンピックの開催が決まり、これまで以上にパラリンピック競技に対する期待と注目が集まる中で「パラスポーツに触れてみたい。一緒にパラスポーツを楽しめたら」と思う人も増えているようです。パラスポーツを実際に目にする機会があれば、ぜひ体験してみてください。イメージを超える魅力や面白さを体感することで、きっとパラスポーツのファンになることでしょう。

パラスポーツに触れてみよう

県内最大のスポーツイベントの一つ「福岡県民体育大会」に、平成29年度から障がい者の部を設立しました！平成30年度は車いすバスケットボール、バドミントン、ブラインドサッカー、車いすテニス、バレーボール、ソフトボール、卓球、ウィルチェアーラグビーの8競技を実施しました。

パラスポーツに興味がある方は、
お気軽にご連絡ください。

福岡県スポーツ振興課
☎092-643-3515 ファクス092-643-3408

